

“食べる事”で困っていませんか？

言語聴覚士（ST）は、

言葉や嚥下摂食（飲みこみ）に特化した、リハビリ専門職です！



ご本人

病院ではペースト状の食事って言われたけど…
形のあるものを食べたいなあ

食べたいものを、どうすれば食べられるかの工夫や、
能力に合わせた食事形態の提案を行います！



ご家族

退院が決まったけど…
安全に食べさせられるかしら…

病院からの情報を元に、ご自宅での食事のフォローや
その後の経過に合わせて安全に食べられるよう、
支援します！



看取り期の方

可能な限り、
最期まで自宅で好きなものを食べたい！

状態に合わせて、姿勢調整や食事形態など、
安全に食べられる方法を提案します！

実例ご紹介！

病院からは、ペースト状と言われたけれど、

「本当は大好きな納豆を食べたいな…」



肺機能低下がある方

言語聴覚士がご自宅に伺い、

ご本人の飲込む力に合わせて、

納豆のタイプや安全な食べ方を提案！

ご希望達成！納豆を食べられるように！



以前は、毎日喫茶店に通うほどコーヒーが大好きだった方。

「大好きなコーヒーを飲みたいな…」



看取り期で
口から食べる事が
難しくなってきた方

姿勢（背もたれや首の角度など）や

安全な一口量・トロミの量を調整し、

コーヒー数口を香りと共に楽しみました！



1日1回の楽しみにしているお食事。

「もっと形のある物を食べたい…」



朝・夕は経管栄養、
昼のみ、おかゆとミキ
サー食を食べている方

飲込み能力を評価後、
ケアマネジャーさんや主治医の先生と情報共有。

車椅子の姿勢調整・安全な食形態をご提案…

半年後には形のあるご飯とおかずを食べられるようになりました！

